

信じ難い事かもしれない。でも一人一人が発言すればもつとすすてきな街になる。国になる。絶対。



号外!

2001.
6月

Speaker's Corner vol.8
発言する場所

新市「さいたま市」は

市民に身近な市政となるか?

「みなさまの声、反映します」と、新市の『ガイドブック』の「議会・選挙」と「市政」の項目にありました。

本当にそうなのでしょうか?

新しい市長が決まって初めて開かれる市議会を傍聴しようと思い、市議会事務局に電話で問い合わせしてみました。

対応に出た職員は、「分かりません」というのみ。議会は市長が招集するので、総務課に聞いて下さいと言うのです(たらいまわし)。しかも、いつ議会を開催するかは1週間前じゃないと明らかにできない、とも。でも、実際は議会側と執行部側で日程のすり合わせをして開催日程が決まるのは、当り前のこと。議会への請願や陳情の提出期限が開催7日前なのだから、(職員が言うように)7日前にしか市民が議会開催を知らされなければその議会への請願、陳情は間に合わないといことになる。この日の翌日、埼玉新聞に「さいたま市議会開催予定」の記事が載っていました。職員の対応は、こういうことでいいのでしょうか? ずいぶんと不親切なもので、民間のサービス業では考えられません。

そえのふみ子プロフィール

1948年(昭和23年)生れ。淑徳大学社会福祉学部社会福祉学科卒。

1991年~1999年まで浦和市議会議員を2期つとめる。福祉・環境・男女平等・人権・自治が生きるまちづくりを求め、今も草の根で市民・住民運動活動中。



そえのふみ子



103万人の大きな街なら尚更、
行政も議会も風通しを良くしないと…

市民のフラストレーションは溜まる一方

市民の暮らしを手助けするのが市政の仕事
市政に携わる人は、市民の税金請負という
当り前のことを忘れないで!!

一人の市民の眼で市政を見ると、まったくと言っていいほど見えてこないことを実感します。行政側からの一方的なお知らせ（市報など）はあっても、知りたい情報を得るには時間とエネルギーの消耗覚悟で、電

話するか窓口に行くかしか、ありません。インターネットで検索してもリアルタイムの情報はなし。

もっと気軽に、市民が市政のことを知ることができるようにすべきなのでは？

行政の説明責任という言葉、行政側も口にするけど、その割には進んでないようです。市民の目線をもっと持つてもらいたいですね。

バザーのお礼

6月23日に第12回目のリサイクルバザーを行いました。売上は85,000円でした。品物を提供して下さった方々、買いにきてくれた皆様、ありがとうございました。例年のように、売上の中から、タイの山岳民族の子どもたちの学生寮と、チェルノブイリの子どもたちに、それぞれ1万円ずつカンパさせていただきました。

住民の声を生きる街づくりを
まちを創るのは私達の自治の力
浦和のまちで、すべての人が安心して暮らせるために…。その願いを込めて「そえの発・号外!」を発行します。生活者の意見を出し合ひましょう。ご意見をお寄せ下さい。

連絡先：さいたま市領家5-1-10-103

Tel/Fax：048-883-4942

編集：田中冴子 花岡理恵

発行人：添野ふみ子

Eメール：soeno@aaa.or.jp

気軽に仲間に加わって下さい。共に学び 認識を深め、発言していきましょう。座っていても何も変わらない。だから 出会え! 出会え! 人と出会え!…で、御連絡お待ちしております。